

2024 年度

事業計画書

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

公益財団法人しまね海洋館

I 管理／運営の部

1 はじめに

当法人は、2000年（平成12年）に島根県が設置した島根県立しまね海洋館の管理運営を通じて、多くの人々が日本海の自然や生態とふれあい、楽しく過ごす場を創造し、賑わいの創出や新たな民間活動の誘発により地域の活性化に寄与するとともに、水族の保護、保全を含めた豊かな海洋自然の大切さについて普及啓発をしてまいります。

【展示】【接客】【営業】【地域連携】【地域貢献】の5つを主要事業といたします。

【展 示】トビウオ、サメ、ペンギン、シロイルカをはじめとする約400種10,000点を神話の海やコーラルリーフ、ペンギンプール、別館シロイルカ繁殖プールやシロイルカパフォーマンスプールなど大小72ある水槽に創意工夫を凝らした魅力あふれる飼育展示を展開してまいります。また生物の繁殖や生息域内外の保全に努め水生生物の魅力を伝えてまいります。

【接 客】多くの来館者へ心のこもった「おもてなし」の接客をおこない、新規顧客やリピーターの確保に努めてまいります。

【営 業】当館の魅力的な展示生物を全国や世界に発信し、集客につなげる積極的な営業活動の展開に努めてまいります。

【地域連携】地域に愛され必要とされる水族館を目指し、地域の活性化に貢献してまいります。

2021年度秋より実施している「障がい者就労支援」やJRとの連携による取り組みなど、地域の資源を生かしながら地域課題の解決に資する地域連携事業を継続するとともに、新たなイベント、企画を通じた様々な連携を構築してまいります。

【地域貢献】島根県立しまね海洋館は「島根県西部の活性化」を設立目的の1つとしております。学習支援施設社会教育施設という使命を持つ水族館として、次代を担う子どもたちへの「深い学び」の提供に努めるとともに、県内外から来館される多くの皆様に「笑顔と感動」をお届けし、地域経済の活力維持に貢献してまいります。

上記5つの主な事業を着実に推進し、持続可能性を高めていくことが必要であると考えております。そのうえで、アクアス来館者の「基礎的な需要」でもある、地元からの応援者、アクアスファンを確実に獲得していくための取り組みに力点をおいて進めてまいります。

特に地元からの応援指標の一つでもある「年間パスポート会員」の拡大や「子育て世帯」を意識した取り組み、「地域連携」の取り組みを推進し、「地域に愛され必要とされる水族館」を目指した様々な取り組みを着実に進めるとともに1年後に迫る「大阪・関西万博」の影響も想定しながら、確かな「基礎固め」に資する取り組みを推進してまいります。

島根県立しまね海洋館は、「社会教育施設」の役割である教育普及・啓発に積極的に取り組んでまいります。SDGsにある目標「質の高い教育をみんなに」を達成するため、主に学校教育への支援を引き続きおこなってまいります。来館困難な児童・生徒へのICTを活用した学習機会の提供にも取り組んでまいります。また、引き続き多様なステークホルダーと連携しながら、SDGsに関わる活動を進めてまいります。

入館者数の平準化を進めるために、昨年度から取り組んでいる閑散期対策について、さらに取り組みを充実、発展させてまいります。萩・石見空港を窓口とした関東圏からの集客についても今年度は具体的な計画を立案し、実現に向け取り組んでまいります。また学校団体による教育利用についても様々な仕掛けを考案し昨年度以上の来館に繋がるよう取り組んでまいります。

最後に昨年の9月と10月に2頭のシロイルカの妊娠が確定いたしました。その出産時期は2024年6月から9月と予測しております。しまね海洋館においてシロイルカの出産は、10年ぶりとなることから細心の注意を払い、全職員協力のもと最善を尽くしてまいります。

2 目標入館者数について

来年度の年間入館者目標は以下の表のとおりとなっております。

区分	2024 年度 (R6) 目標	2023 年度 (R5) 見込み	2022 年度 (R4) 実績	2021 年度 (R3) 実績	2020 年度 (R2) 実績
総入館者数 (対前年比)	365,000 人 (104.2%)	350,000 人 (101.1%)	346,282 人 (136.1%)	254,454 人 (121.4%)	209,551 人 (60.6%)
有料入館者数 (対前年比)	277,000 人 (104.1%)	266,000 人 (101.0%)	263,356 人 (131.5%)	200,266 人 (122.0%)	164,168 人 (60.9%)
無料入館者数 (対前年比)	88,000 人 (104.8%)	84,000 人 (101.3%)	82,926 人 (153.0%)	54,188 人 (119.4%)	45,383 人 (59.4%)

3 開館計画

(1) 開館日

2024 年度開館予定日数：324 日（条例上は320 日）

①条例で定められた休館日については下記のとおりとなっております。

- ・火曜日。火曜日が祝日の場合は、翌平日。
- ・12月31日、1月1日
(但し、4月30日～5月2日、7月20日～8月31日、12月28日～12月30日、1月2日、1月3日は開館)

②条例で定められた休館日のうち、下記の計4日間については収益が見込めるため開館いたします。

- ・2024 年 4月2日、12月31日
- ・2025 年 1月1日、3月25日

(2) 開館時間

①条例で定められた開館時間

- ・通常期（4月1日～7月19日、9月1日～3月31日） 9:00～17:00
- ・夏休み期間（7月20日～8月31日） 9:00～18:00

②上記にかかわらずゴールデンウィークや夏休み期間など繁忙期は入館者の状況を見ながら開館時間の繰り上げや閉館時間の延長などをおこなってまいります。

③夏休み、ハロウィン、クリスマスなど集客の見込める週末には、夜間営業を計画してまいります。

- ・夏休み「ナイトアクアス」
- ・ハロウィン「ハロウィンナイト」

・クリスマス「アクアス スペシャルクリスマス」

4 職員体制

昨年度、正規職員と契約職員のバランスや現場における指導者不在面の是正などの視点から正規職員の採用試験をおこない、2名を正規職員に採用いたしました。2024年度職員数につきましては、館長以下54名体制で運営してまいります。

水族館の根本である「飼育展示」の充実はもちろん昨年度より始めた地域連携への取り組みも発展できるよう区分の垣根を超えた協力体制をつくりながら運営していくとともに、誰もが働きやすい職場づくりに努めてまいります。

区分	正職員		契約職員	パート タイム 職員	計	備考
	技術職	事務職				
館長・地域連携推進室長 (兼務)		1名			1名	・常務理事兼務 ・室長事務取扱
魚類展示課	6名		5名	2名	13名	
海獣展示課	8名		8名	2名	18名	
管理監室	3名				3名	・設備管理監 ・動物管理監
経営課		6名	13名		19名	
地域連携推進室		(1名)			(1名)	・現行部署の業務を 兼任
計	17名	7名	26名	4名	54名	

5 職員採用計画

水族館施設だけでなく社会教育施設、地域に必要とされる施設としての質も落とすことのないよう経営状態を見極めながら職員体制の充実、強化を図るなど更なる飛躍を目指した中長期的な採用計画を策定してまいります。

6 施設外就労

2021 年度より始めた障がい者施設外就労を 2024 年度も継続し、施設利用者の社会進出の手助けに貢献してまいります。また最初の取り組みである別館シロイルカ繁殖プールの調餌業務をより一層充実させることを目標に新たにこの取り組みに参加していただける施設事業所の開拓に努めてまいります。そのうえで別館シロイルカ繁殖プールの調餌業務にとどまらず、広く施設利用者の方々が取り組める事業について関係各所と協力体制をとりながら、その可能性を広げていく取り組みを進めてまいります。

さらに上記以外にも水族館で開催するイベントへ施設利用者の方々が参加する「就労体験プロジェクト」の場を設け「体験」「学び」「喜び」を感じてもらい「もてなされる側」から「もてなす側」へをキャッチコピーに様々な取り組みを進めてまいります。

Ⅱ 事業の部

1 公益事業

(1) 接客業務事業

①接客/接遇業務体制

多くの来館者を始めにお迎えする総合案内所や館内各所で心のこもった「おもてなし」をするためアクアメイトを含め 11 名体制で取り組んでまいります。展示以外でも「来てよかった」「また来たい」と思っただけのような接客を心掛けてまいります。

②アルバイト

近年確保が非常に厳しい状況となっておりますが、来館者が多く見込まれる日を中心に近隣の大学や専門学校の学生を中心に幅広く募集しサービス向上に努めてまいります。

(2) 集客対策事業

集客対策事業については、春～夏の期間だけでなく秋季以降も積極的に誘致をおこなってまいります。特に冬期は、地元からの応援者や年間パスポート所持者、子育て世代などの獲得に繋げ、年間入館者数の平準化を目指してまいります。

また学校団体による教育利用についても過去の来館状況を分析し、再来館に繋がるよう、さらに新規開拓に向け積極的に学校やエージェントへ働きかけてまいります。

①送客誘致事業

エージェントへの団体客誘致活動について、下記を重点として積極的におこなってまいります。また首都圏（関東圏）からの誘致に向けて、萩・石見空港や周辺団体等と連携、協力して取り組んでまいります。

- ・ 島根県観光連盟、各種協議会などが実施するエージェント招致事業など
- ・ 島根県東部及び鳥取県西部
- ・ 集客重点地域である山陽方面（広島、岡山）及び山口、愛媛、香川県のエージェント
- ・ 学校団体などの教育利用
- ・ 生協ひろしま、生協しまね、マツダ労働組合、私学共済、他の共済組合や団体など

②各種観光キャラバンへの参加

島根県、島根県観光連盟、浜田市及び江津市観光協会などが実施する観光宣伝事業とタイアップし積極的な宣伝や街頭活動を実施してまいります。

③周辺施設と連携した魅力ある誘客対策

石見ツーリズムネット（2024 年度予定：23 施設加盟）などと連携し、魅力ある周遊型商品を開発してまいります。また石見地方のご当地グルメ（神楽めし）の開発などの取り組みにより島根県観光連盟、地元観光協会及び地元行政などと協力を図るとともに首都圏とダイレクトに繋がる萩・石見空港との連携による石見地域への誘客を図ってまいります。

④島根県立しまね海洋館公式 SNS

Facebook、Instagram、Twitter、YouTube を活用し、旬な情報を提供するため引き続き情報発信をしてまいります。

(3) 広告宣伝事業

新たにリニューアルオープンした 3 階の両生類・爬虫類コーナーやシロイルカによるパフォーマンス、県魚であるトビウオの通年展示をはじめ島根の海から世界の海へのコンセプトのもと、多種多様な展示やきめ細かく充実した教育プログラムなどを広く宣伝し更なるアクアスの魅力と楽しさを伝えてまいります。

また下記の重点期間・重点地域を中心に電波媒体、紙媒体、インターネットを使い、広報や宣伝に努めてまいります。

①広報宣伝期間

重点期間

- ・4月中旬～ゴールデンウィーク
- ・7月中旬～8月の夏休み期間
- ・冬休み期間及び年末年始
- ・閑散期から春休みに向う3月中旬
- ・その他の期間

館内イベントや周辺施設、地域イベントの実施にあわせ相乗効果が期待できる時期

②広報宣伝地域

最重点地域

- ・島根県、広島県及び岡山県を中心とする山陽方面

主要地域

- ・鳥取(山陰エリア)及び山口、愛媛、香川方面

その他

- ・関東エリア (萩・石見空港の東京便利利用獲得のため)
- ・福岡エリア

2024 年 6 月に日須磨水族園が大幅リニューアルオープンするにあたり、関西、四国、岡山の各エリアからの来館者が減少する可能性があります(しものせき水族館も 2024 年 12 月からリニューアルオープンに向け、改修工事のため全面休館の予定)。その対策の一つとして、過去のナンバープレート調査結果から近年来館者数が伸びている「福岡」「北九州」や「山口県西部(下関)」を中心とした福岡エリアから新規来館を促すための広報展開を 3 ヶ年計画で進めてまいります。主な広報展開は SNS 媒体等を活用し、中国四国エリアで展開している広報内容とは差別化を図り展開してまいります。差別化の具体案としては、初めて当館の存在を知る人が大半と考察できるので、西日本で唯一のシロイルカ展示やしものせき水族館やマリンワールド海の中道など福岡エリア近郊で飼育されているスナメリとの違いなど初歩的な内容から始めてまいります。

③広告宣伝事業

電波媒体広告(テレビ・ラジオなど)としては、ゴールデンウィーク、夏休みを中心に広告展開を実施し、単に CM 広告だけでなく、各放送局の情報番組(パブ出演)や放送局エリアでの街頭宣伝活動などとセットでキャンペーンを実施してまいります。

紙媒体広告(旅行雑誌・新聞など)としては、山陰、山陽地区の新聞や有力なタウン情報誌を中心に集客時期を考慮して広告展開するとともに、割引クーポン及び読者プレゼントなどを効果的に利用し、積極的に促進に取り組んでまいります。

電子媒体広告としては、インターネットや SNS を利用した広告、宣伝を強化してまいります。

近年、YouTube 広告、特にコネクテッド TV(自宅テレビにインターセット回線を接続し YouTube やその他の配信番組を視聴すること)の普及率、視聴率が子育て世帯を中心に高い傾向にあること、またコネクテッド TV は視聴者のターゲティングが可能で有効な広告宣伝が期待できるため継続運

用してまいります。

SNS 広告は、フォロワー数が一番多い「Instagram」（フォロワー数 17,000 人）をメインに中国四国エリア及び福岡エリアの子育て世帯をメインに配信してまいります。

（4）来場者対策事業

来場者が水槽やパフォーマンスその他館内イベントをご覧ください際に、安心して安全に楽しんでいただけるように努めてまいります。

- ・中央広場への日よけ大型テント設置（入館チケット購入待ち列対策）
- ・アクアス広場への日よけ大型テント設置（パフォーマンス待ち列対策、熱中症予防）
- ・シロイルカパフォーマンス入場予約システム（待ち列対策）
- ・来館者サービスとして団扇制作
- ・GW など多客日の安全対策として館内にアルバイトを配置
- ・GW やお盆期間の超多客日に対応した受け入れ態勢の慎重な取り組み
- ・インバウンド対策として多言語音声ガイドや翻訳機の活用

（5）集客力向上対策事業

①アクアスを盛り上げよう委員会（AMI）の取り組み

3 課 6 係 2 室の全てより参画した職員による「アクアスを盛り上げよう委員会（AMI）」を組織し集客力の向上と、より豊かな水族館事業を実現するため一過性のイベントだけではなく、アクアスの魅力が継続的に底上げされるようなイベントを計画、実施してまいります。

②年間パスポート購入者数・利用者数を増やすための対策事業の実施

アクアスのファンを広げるため、何度でも足を運んでいただけるよう年間パスポートの販売をおこない、特に子育て世代を中心に増やす取り組みを進めてまいります。また子育て世代が、平日に利用していただけるようなイベントとして「アクアス☆ゆったり親子の会」や「年間パスポート会員の日」などを継続して開催してまいります。さらに島根県東部における年間パスポートの購入者数が島根県西部や広島県に比べ少ないため、購入者を増やす取り組みを進めてまいります。その一つとして、まずは島根県職員連合労働組合と協議を進めてまいります。

③訪日インバウンド対策の取り組み

水族館という特別な空間の強みを生かした誘客コンテンツづくりに向けた取り組みを進めてまいります。

2024 年度開催予定

アクアス☆ゆったり親子の会	14 回/年
年間パスポート会員の日	12 回/年

（6）水族収集/飼育/展示事業

生物の適正な収集をおこない、生物の過ごしやすい環境をつくるため、飼育展示環境の適正な維持管理及び飼育資機材の適正購入等に努めてまいります。

①生物の収集

- ・シロイルカについて野生個体の導入は極めて困難であり、これまで搬出先であったロシアにおいても今後の搬出は望めない状況となっております。しかし、血統管理、展示生物の確保の面から新たな血統は将来的に必須であり、新たな血統個体確保の可能性を探る観点から、国内の飼育園館と良好な関係を堅持しながら協力関係を継続してまいります。
- ・ペンギン類については、キタイワトビペンギンの入手が困難なため収集の機会を逃さないよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集を継続してまいります。またオウ

サマペンギン、フンボルトペンギン、ジェンツーペンギンに関しては、血縁関係により血統管理の面から国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集、交換などを積極的におこなってまいります。

- ・カリフォルニアアシカについては、当館での繁殖を進めるとともに国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら交換など積極的におこなってまいります。
- ・ゴマファザラシについては、現在飼育密度が高く、かつ飼育している全ての個体は血縁関係にあります。飼育個体の搬出先を探すとともに血縁関係のない新たな繁殖個体の導入を進め、繁殖活動が実施できるよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集の機会を逃さないように努めてまいります。
- ・展示生物については、近在の漁業協同組合、地元漁業者、活魚業者、他園館との連携を強め、引き続き良好な関係を堅持しながら水生生物の収集に努めてまいります。

②生物の飼育

- ・飼育生物の体調管理、環境管理に留意し健全な飼育に努めてまいります。

③生物の繁殖

- ・飼育生物の健全な繁殖を目指し飼育環境の整備に努め、種の保存に貢献してまいります。
- ・魚類展示課担当生物においては、(公社)日本動物園水族館協会の繁殖賞を5種、初繁殖認定を2種の計7種の飼育生物について受賞、認定されており、種の保存事業に大きく貢献しております。他の飼育生物についても更に飼育環境を整え1種でも多く自家繁殖ができるよう繁殖技術の確立を目指してまいります。
- ・2014年以來のシロイルカ2頭の妊娠が確認されましたので、無事出産育児ができるよう細心の注意を払い、飼育するとともに、さらなる繁殖技術の確立に努めてまいります。
- ・当館での飼育飽和状態にあるゴマファザラシの搬出先を探し、適性飼育数に戻すとともに、新たな血統の導入を進め、長期的に持続可能なアザラシの飼育を目指してまいります。
- ・2023年6月に生まれたカリフォルニアアシカ(メス、愛称：レイナ)の搬出先を探し、他園館での繁殖に寄与できるように努めてまいります。また当館での繁殖についても継続的かつ積極的に取り組みカリフォルニアアシカの持続的な飼育を目指してまいります。
- ・ペンギン類については、順調に繁殖している種に関しては当館のみの飼育数の増加だけでなく他園館との連携を図り、積極的に交換やブリーディングローンを実施し繁殖が促進されるよう環境を整えるなどして国内全体として種の保存に努めてまいります。すでに国内の他園館と連携しブリーディングローンなどにより繁殖推進の取り組みを実施し、結果も出ております。今後もさらなる努力をしてまいります。

④生物の調査/研究

島根県隠岐の島の固有種であるオキサンショウウオ及びオキタゴガエルの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指し域外保全に努めてまいります。また島根県指定希少野生動植物であるミナミアカヒレタビラの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指してまいります。

さらに日本獣医生命科学大学の飼育下魚類の病理組織学的研究に検体の提供協力をおこなってまいります。加えて長崎大学海洋未来イノベーション機構の次世代養殖戦略会議と連携し、試料生物の提供協力もおこなってまいります。

島根県指定希少野生動植物に指定されているカワラハンミョウについても引き続き希少野生動植物保護巡視員に登録し、生息数調査に協力してまいります。

その他の調査

- ・ダイオウイカ、ウミガメ、鯨類、鰐脚類などのストランディング(水生生物の漂着)
- ・ウミガメの上陸、産卵調査
- ・島根県西部における特別天然記念物オオサンショウウオの生息調査

(7) 学習交流事業

①教育事業

《ボランティアの育成/支援事業》

当館のボランティア組織「アクアサポーター（2023年12月31日現在35名）」は、教育事業の支援や教室の開催を主体とした活動をおこなっております。事業補助のほか、自主活動の計画立案と実施をおこなえる環境を整え、積極的な活動を促してまいります。

また他組織の視察や水生生物に関する研修を企画し、活動の質を高めると共に、得られた知見を自主事業として反映させられるよう支援してまいります。さらに、一定の要件を満たした活動においては昼食などを支給し、活動しやすい環境の充実に努めてまいります。

引き続き新規アクアサポーターの募集及び研修をおこない、登録希望者は通年で受け入れてまいります。

《企画運営事業》

各種教育活動

- ・学校団体など（子供会/他団体含む）来館時のプログラム実施
- ・環境教育プログラムの実施（総合的な学習の時間に対応）
- ・体験学習/教育実習などの受け入れ
- ・学校と連携した出張授業や移動水族館の実施
- ・幼稚園/保育園などと連携した幼児教育への取り組み
- ・特別支援学校などと連携した教育活動への取り組み（ICT活用など）
- ・地域の環境教育活動の支援
- ・各種主催事業の企画/実施
- ・地域ESD拠点としての啓発/実践活動（SDGsカフェ、いわみっこ大作戦など）

②各種教育プログラムの作成及び情報発信

- ・主催事業（体験スクールなど）の告知、チラシなどの作成、配布
- ・学習プログラム紹介資料の作成、配布
- ・学校教育利用支援のため県内小中学校へ訪問
- ・しまね海洋館活動報告書（年報）の作成、配布
- ・しまね海洋館機関誌『神話の海から』の作成、配布
- ・島根県自然系ミュージアムなどとの連携
- ・県内社会教育施設や団体（美術館、科学館、教育委員会、公民館など）との連携
- ・各種教育研修会への参加
- ・各種教材の開発
- ・県西部の環境教育指導者の育成とネットワーク構築、活動をする場所及び環境の提供

③教育用備品/消耗品の作成、購入

- ・オリジナル缶バッジなど教育イベント宣伝物の作成
- ・出張講座など教育プログラム用解説パネルなどの作成及び備品の購入
- ・教育活動用図書及び図書コーナー蔵書の購入

④主催スクール事業

- | | |
|------------------------|----------------|
| ・アクアス体験スクール（継続） | 夏休みを除く月1～2回 |
| ・わんぱく探検隊（継続） | お盆期間を除く夏休み期間 |
| ・サマースクール（継続） | 夏休み期間に3～4回程度 |
| ・ハガキに描こうアクアスの海（継続） | 募集：11月～、展示：2月～ |
| ・冬季限定シロイルカトレーニング見学（継続） | 1月～2月 |

(8) 地域交流事業

①地域交流イベント

当館の強みである「県外からの多くの来館者」に対し、石見地方の魅力を発信するための事業について地域と連携を図りながら内容を検討して開催してまいります。

(開催内容案)

- ・地域の情報発信イベントへの参画（いわみんなど、継続）
- ・市町村の日（各市町村から PR、特産品販売、ステージ等）、学生の日（高校、大学との連携）
- ・自治体や地域グループの催事（こどもまつり、産業祭、マルシェなど）の誘致、共催
- ・水槽前コンサート、パフォーマンスなど

②地域連携事業の推進

地域において様々な事業に取り組んでいる機関等と連携し、地域活性化に取り組むとともに子育て応援や子どもの地域愛を育む事業を実施し、地域課題の解決に取り組んでまいります。

【継続実施】

- ・別館シロイルカの調餌に加え、他部門における「施設外就労」の開拓
- ・当館イベント「市町村の日マルシェ」「ナイトアクアス」「ハロウィンナイト」にて実施した「就労体験プロジェクト」の定着化
- ・JR 浜田鉄道部と連携した鉄道利用と当館訪問スペシャルツアーの継続実施
- ・当館イベント「市町村マルシェ」などで地元事業者を対象としたアクアス広場での特産品販売
- ・県内特別支援学校、県教育委員会、県立大学、株式会社ドコモビジネスソリューションズ中国支店島根支部などの関係機関と連携したリモート校外学習の実証実験の継続実施

【新規事業】

- ・アートベースしまねいろ、アトリエ・スノイロ、島根県立大学などと連携し「アクアート」事業の開発、実施
- ・シニア層をターゲットに健康をテーマとした「健康コンテンツ」の開発、発信
- ・周辺自治体の子育て応援や人口減少対策等との施策連携の推進
- ・JR と連携した情報発信（新山口駅等での共同 PR など）
- ・就労継続支援事業所との連携事業（絵馬的なものなどの製作及びマルシェでの販売など）
- ・JR や石見交通と連携した地域交通対策等に資する誘客策の企画、実施

③各種地域振興イベントへの支援

地域振興イベント協賛負担金

- ・江の川祭り
- ・浜っ子祭り
- ・はっしー広場イベントステージへの協賛（石見神楽の上演経費など）

④各種減免週間への対応

児童福祉週間、敬老週間、障がい者福祉週間のそれぞれにおいて対象者に無料開放をおこなってまいります。

⑤年間パスポート会員への対応

年間パスポート会員を対象に当館主催事業の告知や会員限定スクールを実施してまいります。当館のファンを増やし、愛される施設を目指すと共に会員の増加を図ってまいります。

- ・機関誌『神話の海から』発行（オリジナルアプリからのダウンロード、希望者には冊子を進呈）
- ・アクアス体験スクールなどの案内（WEB 配信および公式アプリニュース）
- ・年間パスポート会員特典（毎月 10 日にイベント開催、スタンプサービス、オリジナル缶バッジ

プレゼント)

- ・公式アプリ来館スタンプの付与(来館した回数によりオリジナルグッズをプレゼント)

⑥子育て支援事業への取り組み

- ・未就学児を中心とした子育て家族を支援するためのイベント開催(アクアス☆ゆったり親子の会)

(9) 特別企画展事業

水族館は、展示内容の変更が容易でないという性質上、特別企画展を計画的に開催し展示に魅力と変化をもたせております。またこの事業では単なる生物展示のみでなく、環境学習や海洋資源の保護などの学習要素を多く取り入れた内容にも取り組んでまいります。

さらに2025年度特別展の計画を立て、2024年度中に準備調査を進めてまいります。

«開催予定»

- ①前年度からの継続特別展『どんぶらこ ～しまねに流れ着いた生き物たち～』

2024年3月2日～5月13日

- ②第1回特別展『毒の館Ⅱ』(仮)

2024年7月～9月(予定)

- ③第2回特別展『私のイチオシ写真展』(仮)

2024年秋～2025年1月(予定)

- ④第3回特別展『鱈展』(仮)

2025年3月～5月(予定)

(10) 施設管理事業

①光熱水費管理

島根県立しまね海洋館は2004年3月に「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づく第二種エネルギー管理指定工場に指定され、エネルギー管理員の選任及び毎年の定期報告が義務づけられております。

今後も最適な機器の選定及び運用を考え島根県と連携して省エネ機器の積極的な導入、機械設備の効率的な稼働をおこない、省エネルギーを目指し管理運営に努めてまいります。

高騰している電気代については、水槽照明以外のLED化は2023年度中にほぼ終了し、今後は残る箇所について県と緊密な情報共有をおこない、早期実現を図ってまいります。また機器設備の更新においても省エネ化に繋がる機器類を選定し、より一層の使用電力の効率化・省エネ化を目指してまいります。

②設備メンテナンス

水族館の飼育設備は、飼育生物の生命に直結する重要なものであり、空調、照明、展示情報、清掃などの施設管理は来館者の安全と満足度を高めるため重要なものと認識しております。

しかし、水族館の設備は海水を使用するため機器の経年劣化が激しく、塩害により耐用年数は短くならざるを得ない状況にあり、これまでのノウハウを生かしつつ、日常のメンテナンスを適切に実施し、より効率的かつ安全な管理をおこなってまいります。

«主なメンテナンス項目»

- ・設備管理保守点検
- ・清掃及び環境衛生管理
- ・中央監視装置
- ・自動制御機器保守点検
- ・昇降機設備保守点検

- ・海水取水施設保守点検
- ・熱源設備点検清掃

(11) 維持工事/修繕事業

2013年度島根県において、施設の長期的な保全と利用者の安全を図るために、「長寿命化計画」が策定されました。実施期間である2014年度から2033年度までの20年計画（総計画事業費約60億円）に基づき、施設の維持、修繕事業計画について島根県と緊密な情報共有、協議をおこない適切に管理してまいります。

またオープンから24年以上が経過し、館内の設備及び建物の経年劣化が各所に見られ2010年度から突然の故障の際には柔軟な対応ができるよう緊急対応修繕費として設置者である島根県において実費精算することとなり、こちらにおいても島根県と緊密な情報共有をおこない来館者及び飼育生物への影響を最小限にとどめるよう努めてまいります。

(12) 災害、事故などの緊急時への対策

2014年8月より建物全体が防火対象物16項イ（消防法第8条第1項及び消防法施行令第1条）に分類されました。施設の防火対策と避難訓練などを定期的におこない、来館者の安全を第一にした取り組みをおこなってまいります。

また緊急時に迅速かつ適切な対応ができるよう、設置してあるAEDを使用した救命活動がおこなえる知識と技術を身につけるため、公園及び館内で従事する他社も含めた全職員が救命救急講習を受講してまいります。

(13) 災害、防犯対策

突然の災害、犯罪に対して慌てることなく対処できるように、地域の警察や消防と連携をとり、日ごろから緊密な情報共有や定期的な訓練をおこない、職員の有事における意識を高めるとともに安全かつ冷静な判断ができるよう取り組んでまいります。

2 収益事業

入館者の便宜を図るとともに、公益事業などで水族館運営事業の一部の財源を確保するために適切な収益事業をおこなってまいります。また今後は下記以外にも新たな財源を確保できるよう幅広く検討してまいります。

- ・飲料自動販売機、プリントシール機の運営管理
- ・ロゴマーク、キャラクターのロイヤリティーの管理
- ・カプセルフィギュアの販売及びクレーンゲームなど